

# 西予市環境 フォーラム

ジオパーク活動を通して、生物多様性を考える

**日時** 平成25年2月24日(日) 13:30~15:30 開場13:00~

**会場** 愛媛県歴史文化博物館 多目的ホール

**定員** 300名 **参加費** 無料 事前申込不要

**展示** かんきょう川柳・ジオ写真展など

ホールイベント

- 「わたしたちのふるさと」西予市立皆田小学校 5年
- 基調講演 矢島 道子 氏 ●お知らせ

## 演題『ロック・グリーン・カフェは西予のジオパーク』

### 講師プロフィール

1950年新潟県生まれ、博士(理学)

ジオパーク、ジオ多様性の普及のために全国をかけめぐり、地質学の普及のために「たんけんマップ」をつくり、地学の歴史や自然史の研究を続けている。

1950年 新潟県高田市生まれ

1981年 東京大学理学系大学院地質学専門課程博士課程修了、理学博士  
化石カイミジンコ(オストラコダ)の分類学的研究

1981~2003年 東京成徳大学高等学校教諭

1995年~ 東京大学研究総合博物館協力研究員

現在 東京医科歯科大学教養部、首都大学理工学部、早稲田大学法学部・理工学部、日本大学文理学部、茨城大学理学部等で非常勤講師(科学史、地球科学)

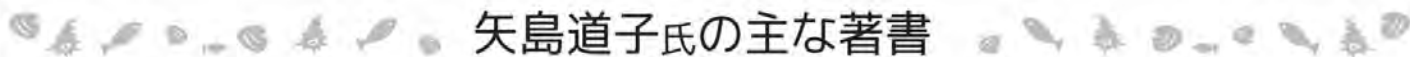


矢島 道子  
(やじま みちこ)



主催 西予市環境衛生課、四国西予ジオパーク推進協議会

問い合わせ先 〒797-8501 愛媛県西予市宇和町卯之町三丁目4 3 4 番地 1 西予市環境衛生課  
TEL 0894-62-1132 FAX 0894-62-6528



## 矢島道子氏の主な著書

- 1993『地球からの手紙』国際書院
- 2003『メアリー・アニングの冒険』朝日選書(吉川惣司と共著)
- 2007『日本列島ジオサイト地質百選』全国地質調査業協会連合会、地質情報整備活用機構(編集)、オーム社
- 2008『化石の記憶』東京大学出版会
- 2009『写真と図で見る日本の地質』地質情報整備活用機構、産業技術総合研究所地質調査総合センター(編集)、オーム社
- 2010『世界のジオパーク』世界のジオパーク編集委員会、日本ジオパークネットワークJGN(編集)、オーム社

### 🌸 ジオパークとは

ジオパークとは、学問上重要な地質や地形などの地質遺産を含む一種の自然公園です。ただ、地質のみを対象としているわけではなく、貴重な価値を持つ自然遺産や文化遺産も含まれます。

ジオパークでは、これらの貴重な遺産の保全・活用を通じて持続可能な地域社会の活性化を目指します。

現在日本では、25地域がジオパークと認定されており、内5地域は世界ジオパークに認定されています。

### 🌸 生物多様性とは

地域に固有の自然があり、それぞれに特有の生きものがいること。そして、それぞれがつながっていること。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きています。地球上のこのような複雑多様な状況を一括りにして「生物多様性」と呼びます。

### 🌸 四国西予ジオパーク構想とは

海拔0mから1,400mの標高差をもつ西予市には、宇和海リアス式海岸や四国カルストなどに代表される美しい地形、国の重要伝統的建造物保存地区に選定された町並み、古代の遺跡や古墳、棚田やだんだん畑など、ジオパークの資源として素晴らしいものがたくさん存在しています。

特に、4億5千万年前に形成され旧城川町の前身である黒瀬川村から名付けられている本市ゆかりの地層「黒瀬川構造帯」は、地質学において非常に重要な場所です。

これら、市内各地に数多く残されている地域資源を、「地域の宝」として住民が誇りに思い、ジオの面白さに気付き楽しむ、そして、その素晴らしさを訪れた人たちに楽しんでもらう仕組み作りが、四国西予ジオパーク構想です。



みんなで作ろう！  
四国西予ジオパーク